

## 事業活動報告

事業所名 第二かめおか作業所

<p>1. 2017年度 事業所方針 【生活介護（生産型）】</p> <p>～その人らしく『なりたい自分』に挑戦し、手応えにする一年～</p> <p>①「自分らしく はたらく」をつくります。</p> <p>②『みんなと一緒！ つながる！』を大切にするメンバー集団づくりをめざします</p> <p>③ 生活・健康を守る支援を進めます。</p> <p>④ “チーム2かめ”で集団的に支援する質の高い職員集団を目指します。</p>
<p>2. 利用者・職員状況について</p> <p>○利用者：現員34名（男性17名 女性17名）平均年齢 40.08歳 …定員35名</p> <p>○職員：正規支援員5・非正規支援員7 …調理員2・運転手1・看護師1(金)のみ ※7月採用1 ※9月退職1 ※1月採用1</p> <p>○作業グループ ・リサイクル15名…アルミ缶、ペットボトル、牛乳パックの回収、処理作業 亀岡市より委託1件（市内小学校等ペットボトル回収）</p> <p>・さわさわ自主製品19名（他併用4名）…よもぎ製品、竹炭製品製造販売、仕入販売 亀岡市指定ゴミ袋販売</p>
<p>3. 2017年度の実践内容について</p> <p>&lt;仕事&gt;</p> <p>・リサイクル作業では年間を通じてメンバーの安定した仕事を確保していくために、資源回収量を増やすことや処理量を増やすことができる作業環境調整に取り組んできました。倉庫に眠っていたプレス機の再活用をはじめ使いやすい作業用具の購入や、一人一人が落ち着いて仕事に取り組める居場所づくりの工夫などです。その結果、機械に挑戦する誇らしげな姿が見られ、より集中して作業に取り組む姿が見られました。亀岡市からの委託事業の拡大もあり冬場でも途切れることのない仕事の確保ができ収入もアップしました。第二かめおか作業所全体の授産事業収入の柱で。</p> <p>・よもぎや竹炭を使った自主製品販売や仕入れ販売ではリピーターはあるものの年々収益が減ってきています。生産に携わるメンバーの生活実態に合わせた仕事の工夫や働きがいと合わせて収益の維持、増については今後の課題です。</p> <p>&lt;生活&gt;</p> <p>・平均年齢が40歳となり、知的障害のある人たちに加齢の影響が表れ始める年齢となっています。体調の変化がいつそう顕著になり、働きたい気持ちにからだがついていかない、休憩することを認める自分づくりも重要になってきており、生涯発達の意味を改めて問い直す時期に来ています。合わせて本人を支える家族の基盤も揺らぎ始めている実態があります。本人の変化に合わせた対応をスムーズに進める事の難しさも浮き彫りになった1年でした。</p>
<p>4. 2018年度への課題について</p> <p>・障害の多様化に伴って、第二かめおか作業所内での一層の機能分化が必要になっています。元気よく全身を使って仕事をする人たちの作業場所の確保や、加齢に伴う重度化による動きやすく安心できる広い空間確保なども重要です。継続審議となっている建物の改修や新築移転等についてのビジョンの具体化が急がれます。</p> <p>・障害の重いひとたちが「自分らしく」働くこと、生活する事の保障と、生きがいを見出しながらの生産性向上や収益増について、一層学び集団議論をしながら実践を深めていく事が重要です。</p>